







福祉・介護  
最前線  
interview

## 義肢・装具づくりだけではない! 医療から生活まで支える「義肢装具士」に

医療分野で今、最も注目されている仕事の一つに「義肢装具士」があります。義手、義足、装具を製作し、障がいを抱える人たちをさまざまな面から支えるだけでなく、病気やけがの予防にも大きな役割を果たしています。08年春、専門学

校としては全国で初めて4年制の義肢装具士養成課程を設けた神戸医療福祉専門学校三田校(兵庫県三田市)の内田充彦・事務局次長に、その仕事の意義や、これから専門家を志す人たちに求めるものなどを語ってもらいました。

いきいき  
技術だけでなく、患者さ  
ー 義肢や装具づくりの高  
なうないうになりました。

西洋では、ルネサンスのころから甲冑(かっちゅう)づくりの技術を生かして義足、義手がつくられていましたが、古くは棒をくぐりつけたりして失った足の代わりにしていたようですが、エジプトで発掘されたミイラにも義足があったことが報告されています。日本では1987(昭和62)年に法律が出来、「義肢装具士」になるためには、国家試験に合格しなければならないようになりました。

日本では、日本の医療費は増え続けています。医療費を高くしている要因の一つに患者さんの外科

「義肢」は手や足を失つた方に装着し、外観や機能を復元させる器具のこと。義手、義足です。「装具」は病気や事故などで体の機能を損なった方に装着し、機能の回復や治療の一環として用いる器具のこと。義肢装具士は、義肢や装具をつくる医療の専門職で、医師の指示に基づいて、装着部位の採寸や探型をし、義肢や装具を製作、患者さんの状態や特徴に合わせて調整します。

西洋では、ルネサンスのころから甲冑(かっちゅう)づくりの技術を生かして義足、義手がつくられていましたが、古くは棒をくぐりつけたりして失った足の代わりにしていたようですが、エジプトで発掘されたミイラにも義足があったことが報告されています。日本では1987(昭和62)年に法律が出来、「義肢装具士」になるためには、国家試験に合格しなければならないようになりました。

日本では、日本の医療費は増え続けています。医療費を高くしている要因の一つに患者さんの外科

校としては全国で初めて4年制の義肢装具士養成課程を設けた神戸医療福祉専門学校三田校(兵庫県三田市)の内田充彦・事務局次長に、その仕事の意義や、これから専門家を志す人たちに求めるものなどを語ってもらいました。

—まず「義肢装具士」の仕事について少し詳しくお話ししてください。

日本の義肢や装具の製作技術は、ずいぶん高くなりました。「器具をうまく患者さんに適合させてあ

が欠かせない仕事ですね。

日本の義肢や装具の製

作技術は、ずいぶん高くな

りました。「器具をうまく

患者さんに適合させてあ

&lt;p

## 5 いきいき SMILE

## EVENT NAVI

## ■ 第4回介護予防・認知症予防総合フェア

3月5日(金)、6日(土)10時~17時、東京都豊島区の池袋サンシャインシティで。

60歳からの「第3期世代」を豊かで楽しく、これまでどおりの生活を送るために必要な実践術やヒントをご提供。「食」や「運動機能」「社会保障」などテーマに沿ったセミナーなども開催予定。問い合わせは実行委員会事務局(03-3423-3602)

## ■ CO2ゼロ型健康づくり「新体力テスト&amp;万博エコスポーツ」

2月11日(木・祝)、3月22日(月・振替)の両日、吹田市の万博公園・自然文化園東の広場で、障がいのあるなしを問わず6歳から64歳までを対象に開催。丸太積みレース、竹とんぼゴルフなどエコスポーツと新体力テスト。参加受け付けは午前10時~11時、午後1時~2時で、各先着100人、無料。廃食油などをリサイクルしたバイオディーゼル燃料による発電で同イベントを実施。廃食油の持参歓迎。問い合わせは、主催のNPOインクルージョンプログラムラボラトリ(電話06-6877-6992=平日午後4時~6時)

## ■ パンクーパー パラリンピック冬季大会

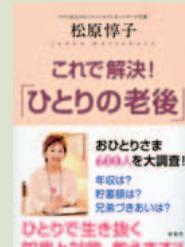
3月12日から21日、カナダパンクーパーのウイスラーパラリンピック・パークほか、アルペンスキー、クロスカントリースキー、バイアスロン、アイススレッジホッケー、車いすカーリングの5種目が行われる。

## ■ エイジングサロン

2月22日(月)13時半から15時まで。大阪市北区菅原町10-25の大坂市立いきいきエイジングセンター(電話06-6311-3255)3階研修室。いきいきとした人生を過ごすため、同センター石田易司館長(桃山学院大学教授)と日ごろ思っていることを自由に語らうサロン。参加無料。

## いきいき図書館

## 【これで解決!「ひとりの老後」】



松原惇子  
これで解決!  
「ひとりの老後」  
おひとりさま600人を大調査!  
年収? 住居? 兄弟つきあい?  
ひとりで生き抜く...  
知識と対策、教えます!

2030年には「ひとり暮らし」世帯が人口の約40%にもなると言われています。だれしもが「ひとりになったら」と思う不安をもつていて、「ひとりを楽しく最後まで安心して暮らす」ことを目的にNPOを立ち上げた

松原惇子さんが、ひとり老後予備軍600人にアンケートし、前向きに生きるための考え方、対策などをまとめた一冊。

「いくらお金があったら安心か?」「病気になつたらどうする?」「ひとり暮らしの最後を世話してくれるのは誰?」など多くの不安を恐れず、まず、考え方から変えようという。お金より大切なもののこと、ひとりと孤独との違い、誰もが避けて通れない問題を心のスイッチを切り替えて輝いて生きようという。生死観を持とうなど示唆にんでいる。海竜社刊(定価1400円)

## 福祉・医療最前线セミナー



千里リハビリテーション病院  
副院长

吉尾 雅春 先生

解剖学で学位をとられた吉尾先生は、座ると立つということが解剖学的にどういうものかを、関節や筋肉の部位で詳しく説明。「患者がしっかり座れない」というのが重要なことです。

2030年には「ひとり暮らし」世帯が人口の約40%にもなると言われています。だれしもが「ひとりになったら」と思う不安をもつていて、「ひとりを楽しく最後まで安心して暮らす」ことを目的にNPOを立ち上げた

吉尾先生は、座ると立つということが解剖学的にどういうものかを、関節や筋肉の部位で詳しく説明。「患者が

義肢装具士や医師、理学療法士など、実際にリハビリの現場で働く人で埋め尽された会場。吉尾先生は「私はこのままでは、義肢装具は必ず冬の時代だと、するとい

うだ」と、するとい

うだ





